

日韓市民ネットワーク・なごや

会報 No.46

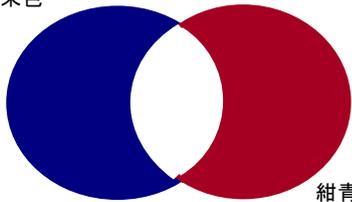
2009-5-15

일한 시민 네트워크 · 나고야

Home Page : <http://www.nikkannet.jp/>

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

朱色



紺青

目次

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 事務局通信 | 統括幹事：後藤和晃 |
| 2. 会の活動報告とお知らせ | 事務局 |
| 3. おしらせ | 事務局 |
| 4. 会員の広場 | 会員の皆さん |
| 5. ソウル通信 | 坂野慎治 |

사무국통신 事務局通信

..... 事務局 統括幹事：後藤和晃

◎日韓交流史講座、順調にスタート！

4月26日、永年の念願だった日韓交流史講座－2000年のロマンを歩く－の第1シリーズを、名古屋韓国学校の教室を借りて、開講することができました。第1シリーズのテーマは“謎の国、伽耶とは？”です。

私たちが交流史講座を設けた最大の動機は「過去2000年間、日本と韓半島は、相互にどんな係わりを持ってきたのか？謎に包まれた真実に迫りたい！」というものでした。最初に取り上げた伽耶は、朝鮮の古代三国（高句麗・百濟・新羅）時代に半島南部を流れる洛東江周辺に展開していた小国家群とされ、韓国でも実体の解明が進んでいない謎の多い地域です。

日本では、伽耶一帯を、古事記、日本書記のいう任那（みまな）であり、大和王朝が永い間、実権を及ぼしていた所と理解してきました。

しかし、これまでの所「任那日本府」の存在も解明されず、王朝と伽耶諸国の係わりの真実については大きな謎として残っています。日韓交流史講座のトップに伽耶を据えた効果か、第1回目の講座「伽耶の古

墳と日本への影響－講師・南山大名譽教授伊藤秋男氏」には多くの受講者がつめかけました。これまでの所、50人近い人々が受講を申し込んでおり、私たちの自主講座はきわめて順調にスタートを切ったと言えます。



写真：講師・南山大名譽教授 伊藤秋男氏

受講生の中には、私たちの会員でない人も多く含まれています。これらのメンバーも日韓交流史へのアプローチを通し、今を生きている韓国の人々や文化に、より関心を高めて行かだろとうと期待しています。



写真：第1回目の受講風景

ところで、26日の夜、NHKの教育TVのETV特集で、驚いたことに「日本と朝鮮2000年」というスペシャルシリーズがスタートし、「古代人々は海峡を越えた」という内容が放送されたのです。このシリーズも、また2000年に及ぶ日本と韓国との交流史を見つめなおそうするもので、全くの偶然とはいえ、同じ視点の講座と放送が同時に始まった背景には、まさしく日韓両国の間に“歴史の真実を求める”時代的な要請が湧き上がっているのではと、感じさせられました。

またETV特集には過去、私たちが交流した韓日の考古・歴史学者たちが幾人も登場していました。

中でも懐かしかったのは、この8月に講座の一環として訪れる予定の韓国・勸島（ヌクト）で、数年前の伽耶・新羅紀行の際、案内し、解説もしてくれた釜山・東亜大学の李東注（イドンジュ）教授でした。

李教授は番組の中で、韓国語が上手な美

人女優でリポーターを務める笛木優子さんと勸島を訪れ、畑に散乱している土器片を拾い上げながら熱弁をふるっていました。

「見てごらん下さい。この土器には細い帯がまきつけられているでしょう。こんな土器は韓国にはありませんでした。まちがいなく日本の弥生式土器で、弥生人が永年にわたって、ここに住みついていた証拠ですよ！」

そう語った言葉は韓国語でしたが、私たちは全く同じ内容を当時、日本語で聞きました。李教授以外に登場した韓国の学者たちも日本語を話せる人たちでしたが、おしなべて韓国語で解説していました。韓国人が韓国語で話すのは、当たり前のもので、放送局の演出としても当然のことでしょう。ただ、もし彼らが日本語でリポーターに話しかけていたら、話の内容が、より豊富に伝わった一方、現代の日韓の考古学界では「相手国の言葉で話せる」ということが特別なことではなくなっている状況も併せて鮮明に伝わったのではないかと惜しまれました。

それはさておき、交流史講座の2回目（5月17日）では名大名誉教授の渡辺誠さんが「考古学から見た初期の日韓交流～伽耶地域を中心として～」という内容で話をされます。ETV特集に登場した勸島遺跡については、特に詳しい話がたっぷり聞けるはずですよ。講座の今後ぜひ注目していただきたいと思います。



写真：第12回総会の風景

회의 활동 보고와 알림 会の活動報告とお知らせ

1.報告

第12回総会と懇親会を開きました。

3月22日、第12回総会と会員や協力者等の懇親会を開き、のべ34名の出席者がありました。韓国料理店で開いた懇親会では留学生や在日の人々の参加もあり日韓交流の雰囲気が大いに盛り上がっていました。以下に総会で承認された各種報告を掲載しておきますので、充分、目を通しておいて下さい。

1. 2008年度 実施行事

“日韓市民ネットワーク・なごや” 2008年実績

日韓市民ネットワーク・なごや

月	日	曜日	行 事	人数	備 考
4	10	日	大邱市での水崎林太郎翁 追慕祭に参加	70	日本からは20人
4	26	土	会報41号 発行	6	担当 早川・鈴木一字
4	29	火	シニア望郷の集い	16	引揚げグループ
5	12	月	古代史の巨人 蘇我氏探究紀行	20	猪熊教授解説
5	16	金	新留学生歓迎会	18	金城大ほか
7	1	火	会報42号 発行	7	担当 早川・鈴木一字
7	8	火	事務局長大阪で講演	10	国民性の差 中心に
7	22	火	光州と愛知の弁護士会の結縁に協力	7	
7	31~	木	光州学生訪問回受け入れ	のべ	協力 ~東大寺・法隆寺
8	4	月	~ 奈良・京都見学とホームステイ ~ 及び交流の夕べ (交流の夕べは8月3日実施)	110	
9	7	日	名古屋で東大寺筒井執事長の講演を実現	55	NHK文化センター
10	4	土	会報43号 発行	6	担当 早川・鈴木一字
11	6	木	光州弁護士会と交流	20	
11	20	木	会報44号通知版 発行	5	担当 中川・鈴木一字
11	26	水	フォーラムでドキュメンタリスト 鄭秀雄氏の講演を実現	250	フォーラム史上最大の 参加者
12	23	火	日韓交流の夕べ ~韓国学校~	77	留学生・会関係者
1	11	日	瀬尾氏ら会員2名に韓国大使から感謝状	250	キャッスルホテルで
2	4	水	フォーラムで元総領事 柳氏 講演	100	
2	11	土	会報45号 発行	6	担当 中川・鈴木一字
3	22	日	第12回 総会		名古屋韓国学校



写真：総会2次会居酒屋「ハンマダン」にて

第12回総会は会員の皆様のおかげをもちまして
1次会は滞りなく2次会も楽しく
終えることができました。
役員一同感謝を申し上げます



2. 2008年度 会計報告書

2008年度 会計報告書

2008年4月1日 ~ 2009年3月31日

前年度繰越金	¥ 532,433
今年度収入額	¥ 616,358
今年度支出額	¥ 595,772

次年度繰越金	¥ 553,019
内訳 郵便貯金	500,000
現金	53,019

収入の部		支出の部		2005-7平均
① 今年度会費	357,000	① 通信費	164,680	159,817
¥4,000×88名		会報・案内・資料送付	114,680	147,817
¥2,000×1名		事務局電話代	50,000	12,000
¥3,000×1名		② 印刷・コピー費	41,957	43,972
② その他の収入	258,725	③ 事務用消耗品費	40,503	36,697
3/20 10周年懇親会・残金	109,625	④ 日韓交流関係費	112,128	181,021
8/11 光州訪問団交流会・	68,947	⑤ ホームページ運用費	52,940	52,960
12/16 交流会寄付・残金	80,153	⑥ 会議・会場費	9,120	11,005
③ 受取利息	633	⑦ 協力者謝礼	77,468	101,142
		⑧ 交通費・下見費用	72,466	67,629
		⑨ 雑費・手数料	24,510	48,649
計	616,358	計	595,772	702,892

※ 会費や寄付金等のお振込の際の郵便振替口座は 入金が有り次第、即現金化をしておりますので、この報告書では 全て現金勘定扱いとして記載し、郵便振替口座収支の報告は省略させていただきます。

2009年3月22日 上記の通り報告いたします。

会 計 伊 藤 み つ 子
 監 査 の 結 果 、 正 確 で あ る こ と を 認 め ま す 。 会 計 監 査 成 瀬 一 男

3. 2009年度 態勢表

2009年度日韓市民ネットワーク・なごや 組織表

日韓市民ネットワーク・なごや

顧問 回	名誉顧問	鄭 煥 麒
	〃	横内 恭
	〃	伊藤秋男
	代表顧問	石原俊洋
	顧問	尹 大 辰
	顧問	李 尚 勲

（全 員 事 務 局 兼 務 ） 幹 事 回	統括幹事	後藤和晃
	副統括幹事	中川修介
	幹事（会計）	伊藤みつ子
	幹事（広報）	鈴木一宇
	幹事（渉外）	鈴木幸之助
	幹事（広報）	小出宣明
	幹事（留学生）	須田奈保美
	幹事（高・大生）	久田光政

事 務 局	事務局長	後藤和晃
	事務局次長	中川修介
	事務局次長	東 道生
	―― 幹事兼務グループ ――	
	事務局補佐	鈴木奈津子
	事務局補佐	竹中志保美
事務局	武田章敬	

監査	会計監査	大久保孝造
----	------	-------

交 流 リ ダ ー	徐 彰 教	韓国での交流
	坂野慎治	ソウルでの交流
	目黒 博	留学生
	武井 一	日韓交流史
	宮本昌子	日本語指導
	荒木巳威子	韓国語指導
	加藤 勝	囲碁交流
	伊藤義郎	歴史・考古
	土岐良文	歴史・考古
	三尾和廣	森で遊ぶ
	土本美恵子	
	田口良浩	ハイキング
	長澤 進	日本古典音楽
野村 哲	アジア全般	

せ わ ぐ ら ー き ブ	堀 芳樹	山田あき子
	鶴飼 満	増田一夫
	佐々木英之	梅田 徹
	山田雅樹	イ・ジョンベ
	市川延江	佐藤昭子



このページは、新聞や雑誌あるいはホームページなど、当会に関係があるニュースを掲載しています。
皆さんが、お気づきになったニュースがあればお知らせください。

◎ 水崎翁の71回忌 ～ 韓国・大邱市 寿城池 ～

朝鮮日報記事提供・・・・・・韓国会員：徐彰教（韓日親善交流会長）

朝鮮日報

2009年 04月 14日 T30면

수성못 축조한 일본인 故 미즈사키 린타로 70주기 추도식 거행

“수성못 덕분에 홍수·가뭄 극복했지요”

대구의 명물 수성못. 옛 사람들에게는 이곳에서 뱃놀이를 하던 추억이 서린 곳이고, 지금 사람들에게는 레포츠와 유흥으로 또 다른 의미를 선사하는 곳이다.

수성못 맞은편 야트막한 산 입구에는 대구사람들이 잘 모르는 장소가 숨어 있다. 한 일본인의 묘다. 옛날에는 수성못을 굽어 볼 수 있었지만 지금은 건물 일부에 의해 수성못 전체가 보이지는 않는다.

묘의 주인공은 일본인 미즈사키 린타로(水崎 林太郎). 바로 수성못을 축조한 인물이다. 수성못과 그의 묘는 '한일 우호의 상징'이기도 하다.

1914년 그는 가뭄과 홍수로 인하여 황폐한 수성못을 옥도로 만들기 위해 자신의 사재(私財)와 총독부의 지원으로 받은 당시 돈 1만2000원을 수성못 축조공사에 털어 넣었다. 물론 당시에는 일제의 강제로 식민지 첩민의 비극적 역사가 시작만 지 얼마 되지 않았던 시기. 그러나 미즈사키 린타로씨는 30여 년의 공사 끝에 현대적 관개 시설을 갖춘 수성못을 축조해 대구의 농민들에게 큰 도움을 주었다. 공사 때 폭 추조를 반대한 사람이 단진 돌에 다리를 맞아 곤경에 처했던 적도 있었다는 이야기가 후일담처럼 전해져 오고 있다.

그런 수성못은 관개시설로서의 기능은 다했지만 지금까지도 대구사람들



13일 대구 수성못 건너편 하산에 자리한 일본인 미즈사키 린타로씨의 묘에서 열린 70주기 추도식에서 참석자들이 고인의 공로를 기리고 있다. <동양산 chosun.com>

에게는 추억과 남잔을 선사하고 있다.

미즈사키 린타로씨는 1939년 세상을 떠났다. 생전 그의 유언에 따라 수성못이 내려다 보이는 현재의 장소에 안장됐다. 그의 묘는 농민들의 보살핌을 받아 왔으나 세월이 흐르면서 묘지가 유실되고 교비만 남게 됐다. 잊혀져 버려지다시피 한 것.

이런 사실을 알게 된 서창교(徐彰教·78) 한일친선교류회 회장이 그의 묘소를 찾아 보수에 나섰다. 또 연정비도

건립해 지금의 모습을 갖추게 됐다.

이후 한일친선교류회가 미즈사키씨의 묘지를 관리하고 매년 그의 기일(忌日)에 맞춰 추도식도 거행하기 시작했다. 이 추도식은 일본에까지 알려지지 않는 않지만 일본사람들이 찾아오곤 한다.

서창교 회장은 이런 공로를 인정받아 지난 200년 일본 정부로부터 '훈1등서보장(勳1等瑞寶章)'을 받았다. 이 훈장은 일본의 저사나 시장급 인사

가 받는 훈격을 가지고 있는 문화훈장이다. 올해는 미즈사키 린타로씨가 세상을 뜬 지 70년을 맞는 해다.

한일친선교류회에서는 그의 기일인 13일 묘지에서 70주기 추도식을 거행했다. 이날 행사에는 일본측에서 다미스치 슈이츠 부산주재 총영사, 사카이 다유시 코 미즈사키 린타로 현상회장 등 일본인 25명을 비롯 한일친선교류회 회원, 한일대문연구소와 회원 등 60여명이 참석해 미즈사키 린타로씨의 공을 기렸다.

한일친선교류회측은 앞으로 인근 수성관찰호 앞에서 묘지에 이르는 직선코스 조성, 묘지 주변에 심어져 있는 이데리 포플러 대신 벚꽃을 심는 등 묘지를 아름답게 가꾸는 일에 주력할 계획이다.

서창교 한일친선교류회 회장은 "비록 당시 일본에 의해 강행된 시기였지만 미즈사키 린타로씨는 진정으로 한국의 농민들을 생각해 관개시설을 갖춘 수성못을 축조한 사람이었다"며 "우리는 선한 일본인의 업적을 한일 우호의 상징으로 후세에까지 전해야 한다"고 말했다.

서 회장은 자신과 부인이 죽으면 화장해 유골을 미즈사키씨의 묘지 부근에 뿌려 달라는 유언을 남긴 상태다. 이 같은 사람은 몇명이 더 있다고 했다. <백원수 기자 wans@chosun.com>

4月13日(月) 韓国・大邱市の寿城池のほとりで、大邱農民の恩人として称えられてきた水崎林太郎翁の71回忌が、現地の市民や日本の関係者などが出席し盛大に行われました。日本側からは釜山の日本総領事や交流団体の関係者など、25人以上が参加しました。一方韓国側からは水崎翁と関係が深い私、徐一族の当主、徐彰教(韓日親善交流会長)をはじめ、呉在熙元駐日韓国大使や大邱市、寿城区の関係者、茶道や大学の関係者など50人が列席しました。 解説：韓国会員：徐彰教

水崎翁は明治元年(1868年)、岐阜県に生まれ、今の岐阜市にあたる加納町の町長をつとめた後、大正4年(1915年)、大望を抱いて日本の植民地だった朝鮮の大邱に渡りました。彼は、その大邱の農民が農業用水の絶対的な不足を嘆いていることを知るや、慶尚道の知事や朝鮮総督府を相手に、命がけで貯水池の必要性を訴えていきます。そして総督府から現在の日本円にして13~14億円もの建設資金を引き出し、10年がかりの大工事の末、ついに昭和8年に巨大な農業用水池…寿城池を完成させるのです。池の水によって周辺には実に250万坪を越える水田が拓かれ、水崎林太郎は「大邱農民の恩人」とうたわれるようになりました。



회원마당 회원広場

このページは会員の皆様の声を順番に載せております。
今回も今まで載せた事のない方を中心に編集しています。
多くの皆さんに書いて頂くために、400～600 字程度の短い
ものでお願いしております。

濟州島の旅を詠(よ)む……………会員：辻 醇 昭和 13 年(1938)韓国・大田で出生、 昭和 20 年帰国、江南市在住

四月半ば、濟州島を訪れた。司馬遼太郎の「耽羅紀行」を読んで以来、訪れる機会がなく十数年を経た。司馬さんが観たその著書に見る濟州島の風物はさらに変貌していたが、所々に日本との深いつながりを感じ見ることができた。(Jeju のガイド嬢がいう) 韓国本土との関係ともやや違う濟州島と我国との古くからの縁を肌で感じ、Jeju の人たちが日韓友好に力になってくれることを願った。

※耽羅=たむら(濟州の古代名) ※Jeju=チェジュ(濟州の韓国音)

- ・漢拏(ハルラ)富士 照葉樹の島 芽吹き色 ※漢拏山は 1950 年で韓国最高峰
- ・司馬訪いしより二十年 Jeju 菜花
- ・石のおじいさん (トルハルバン) アンニョンハセヨと島の春
- ・あかねさす 夕陽にさだめ 漢拏かな
- ・春霞 漢拏山麓 岩浅黄
- ・漢拏山の 裾野緩(ゆ)るかに蒼(あお)なすも 突如林立の高層ビル群 (空港着陸間近)
- ・雲低く 頂き隠すや 漢拏山 くすむ裾野に夕陽点(さ)し染む
- ・表札に 漢字も見えし Jeju の街 早朝市場の にぎわいて見ゆ (濟州の旧市街にて)
- ・ホテルショップに美しき日本語話す老女(ひと) 五年生まれの釜山高女とふ
(亡母の後輩になる)
- ・三多の一つ由(ゆ) 防風林の杉桧 Jeju びとも病む花粉症かな
(Jeju は 風と石と女が多いという)
- ・古き生活(いとなみ) 観せくれる村の案内嬢 柿染め衣の和に通う色 (城邑民族村にて)
- ・入江浜に この海の向うは九州な 日韓結びし橋 かけまほし (山房山の路辺にて)



写真：辻さんの濟州島の旅

付記：この旅行中に留守電があり、亡き両親に敬して接していただいたKさんから、「サピオ」四月八日号に※亡父の写真が出ていることを、わざわざ電話番号を探して連絡いただいた。世の縁に又感じいった。

※ 辻さんの父、萬太郎さんは大田政財界の有力者で、終戦後の引き揚げ時にあたって日本人全員の安全な帰国を実現、最後に大田を去った功労者として慕われた。昭和 58 年逝去にあたり、自分の遺骨を“故郷”大田の山中に散骨するよう遺言、辻さんは、その遺言を守られた。

◎春の慶尚道………会員 武井 一

3月下旬、韓国に行きました。桜が例年より早く、梅、桃、レンギョウ、木蓮、朝鮮ツツジと花が咲き乱れていました。鎮海ではもう軍港祭をやっている、車から見るだけでも思わず声を上げるほどの見事さです。



写真：鎮海の桜並木

8月に行く伽耶の遺跡の下見をしてきました。高霊、咸安、固城と回りましたが、どこも遺跡が整備されて見学しやすくなっていました。博物館の展示も充実しています。

高霊は古墳群が山の頂上から累々と連なっています。100mほどの高さですが、上まであがることができます。固城は韓国にも固有の「前方後円墳」があるのではないかと話題になった古墳があります。発掘の結果違うことが分かりましたが、なるほどそう思われてもおかしくないという形をしていました。また、8月にそのようなところを見て回ることを楽しみにしています。

ところで、このたび、「趙素昂と東京留学」という資料を作りました。400頁ほどのものです。韓国の独立運動家で、留学中に書いていた日記を訳したものです。残念ながら非売品ですが、いずれ出版する計画でいます。韓国に趙素昂の唱えたことを研究する「三均学会」というものがあるのですが、その会長の趙萬濟さんに資料を渡したところ、来年2月にシンポジウムで発表するようにいわれました。おどろいたことに、大邱で徐彰教氏に会って話をしたところ、お知り合いだったと言うことでした。世の中、本当に狭いですね。

◎久田光政新幹事(大学・高校生交流リーダー)の活動を紹介

“함께=ともに”高校生平和特派員実行委員会2009年度企画

♡ めっちゃサランヘヨ ♡
♡ チョルラ愛してる ♡

～“함께=ともに”ライブ2009 in ナゴヤ&ノバル～

主催：“함께=ともに”高校生平和特派員実行委員会
協賛：日韓文化交流基金
協力：日韓友好関係強化(NTO)のハルモニア
日韓民間企業プロジェクト

日にち：	2009年5月4日(日)
時間：	12:00～12:35
会場：	愛知県体育館 <新入生歓迎フェスティバルの一部として実施>
出演：	「舞姫」
構成：	韓国伝統好音楽のチャムコだけによる演奏 韓国民衆(4種の韓国伝統音楽による演奏) with ヒップホップダンス
観劇券：	伝統音楽子-スヌックキ、伝統音楽ワークショップ
協力金：	大人 1000円 中学生 500円
テレビ生出演	メーテレ「どですか」 5月5日(火)午前7時～



写真：会場愛知県体育館から

「“함께=ともに” 高校生平和特派員」は03年から、名古屋と韓国全羅北道全州市の韓国伝統文化高校生と「平和」と「友情」をテーマに交流を続けている高校生の自主グループです。これまで11回の訪韓と6回の訪日を重ねています。

今年は5月3日～6日に学生17名、先生3名が訪日。4日間いろいろな交流を実施しました。今年の活動のイチオシは「めっちゃサランヘヨ/チョルラ愛してる」と題した韓国伝統音楽ライブ。ハムケメンバーと在日コリアン中高生舞踊サークル「舞姫」、韓国伝統文化高校韓国音楽科の伝統音楽演奏と、サムルノリのリズムにあわせた高校生の創作ヒップホップダンスを、愛知県体育館で開催された新入生歓迎フェスティバルで披露しました。そして、このライブは7月25日(土)にソウルの大学路マロニエ公園でも演奏します。

日本人、在日コリアン、韓国人の高校生のジョイントによる韓国伝統音楽演奏ライブ。きっと韓国の方々にも楽しんでいただけると期待しています。

◎ 短歌と写真の作品展……………会員：浅井郷士(名古屋タイトルデザインセンター所長)



コスモスの
花の盛りの般若寺に
みなでゆきしはいつの日なりけむ



秋篠の みてらの庭の
もくれんに
よりそいし人のあわきくちびる



纏向の丘に登れば
くれなずむ
葛城山に日は落ちんとす

大和王権?があったと思われる巻向の地から葛城山系を望みます。
右の森は卑弥呼の墓とも呼ばれる箸墓古墳、左の小山は耳成山です。

3月にNHKビルで
40年にわたって
書き溜めた短歌と写真展を
開くことができました。
若い頃の歌が
多かったのですが
その中に好きな
奈良の歌も
いくつかあります。
またいつか作品展を
開きたいと思っておりますので、
その節は是非
お越し下さい。

金 海石先生から瀬尾文子会員への感謝の手紙

瀬尾文子先生

万物が蘇生する新春にうれしい便りを頂き心より感謝申し上げます。愛のこもった現代韓国時調に私の「初恋の追憶」を選んで下さり、若き日々の自分がかげろうのように蘇ったような気がしました。先生の詩で若き頃を想いだし胸がときめき先生の詩の素晴らしさに感動しています。黄真伊とイーヨンド詩人の詩も素晴らしいです。韓国におこしいたいたときは是非お立ち寄り下さい。



時調を通してあでやかな姿を思い浮かべています。是非おめにかかりたいです。会員の広場を読みながら詩調を愛して下さりまた先生が時調をより深く学ばれたことに感動しています。

献歌(瀬尾文子作)

韓国の喜びもまた 悲しみも 海を隔てて わがことときつ
美しいその心に感謝します。

私は1932年(昭和7年)生まれです。「風邪とともに去りぬ」「狭き門」等々を学生時代に読みました。小学校時代日本語を覚えましたが長い間使わなかったために読むことができますが手紙で書くには自信がありません。先生がご健康で作品活動及び翻訳活動も続けて頂き文学の花を美しく咲かせてくださることを願っています。

アンニョンヒ ケシプシヨ

追伸

時調集1. 2、3、4、巻をお送りいたします。前回、56巻はすでにお送りしたと思います。



◎ 格安航空会社と地方空港……韓国ソウル在住 会員:坂野慎治
(梨花女子大学・通訳翻訳大学院講師)

韓国でも数年前から、安い運賃を武器に新しく営業を始めた格安航空会社があります。例えば、大韓航空の子会社「ジン・エア」がソウループサン・ソウルー済洲島、アジアナ航空の子会社「プサン航空」がプサンー済洲島などの路線を運航しています。

最近ではこうした資金力のある格安航空会社が、韓国内だけでなく日本や中国、東南アジアなどを中心に海外路線を増やしています。運賃は従来の航空会社に比べて2～3割ほど安く、インターネットでチケットを購入すればさらに安くなります。



このように格安航空会社が国内だけでなく海外への路線を増やしているのは、国内線は鉄道や自動車との競争が激しいため利益を出すことが難しいからです。

<韓国内の交通と比較>

●飛行機

韓国内では大韓航空とアジアナ航空の2つの航空会社が運航していて、仁川、金浦空港のほか、釜山、大邱、光州、済洲など 16 都市を結ぶ。航空券の予約、購入は各航空会社の支店やホテル内にある営業所などで可能だ。予め日本でも購入できる。購入時には、パスポートが必要となり、航空券代金のほかに空港施設使用料(国内線)も支払う。空席があれば、出発当日に空港内の航空会社カウンターにて購入することもできる。

●鉄道

韓国内の主要都市間では各線が張り巡らされている。スピードの速い順では、高速鉄道 KTX、セマウル号、ムグンファ号などがある。KTX のソウル～釜山間の所要時間は 2 時間 40 分と、これまでの鉄道より大幅に短縮され(鉄道を利用した場合は 4 時間以上かかっていた)、料金も 4 万 5,000W と格安だ。

●高速バス

高速バスには一般、優等、深夜優等の 3 種類があるが、一般でも冷暖房やリクライニングシートが完備されているので、十分につろぐことができるが、長時間移動であれば、優等がよいだろう。乗車券は高速バスターミナルの窓口で購入してから乗車する。所要時間、料金はソウル～釜山間で約 5 時間 20 分、一般約 2 万 100W、優等約 2 万 9900W。車内にはトイレがないので、乗車する前、または休憩時のドライブインで済ませるようしよう。

例えばソウルプサンを行き来するためには、飛行機が 1 時間ほどと一番早いのですが、空港が都心から離れているので便利とはいえません。これに比べて韓国の新幹線といえる「KTX」の場合、所要時間は 3 時間弱ですが、駅が都心に近いので飛行機よりも便利ですし、運賃も 5 万ウォン弱と格安航空会社の 6～7 万ウォンよりも割安になっています。

そのため、航空会社はキャンペーンで KTX よりも運賃を安くするなど、値引き競争が激しくなっています。こうした中、特に地方空港を基盤とする格安航空会社は経営が厳しくなり、資金難で運航を中断したり、計画を立てただけで実際には営業を始めることすらできない場合もあります。大部分の地方空港は利用者が少ないため赤字が続いており、韓国にある 15 の空港(仁川空港を含む)のうち黒字なのは 5 か所だけです。中には一日の利用客が平均で 26 人、3 カ月以上乗客がいないという空港もあるほどです。

このような事情から、豊富な資金力で路線を増やしている格安航空会社もまだ赤字で、海外路線に活路を見出そうとしているのです。利用者としては、選択の幅が広がるのは嬉しいことですが、安全にだけは十分に気を付けて欲しいと思います。

◎ スンフン君の会員の便りです。・・・李昇勲(イ・スンフン)ーソウル在住
元留学生会長



3月31日に帰国してから、4月半ばまで全国各地に住んでいる親戚の家を廻って永い間のご無沙汰をおわびし、帰国の挨拶をしてきました。来週5月8日あたりから財閥系の〇〇電子会社の社員として働きます。日本での7年余の修学期間(名大→東大大学院)を終えた今、いよいよ社会人となりますが、これまで日本の皆さんからいただいた恩恵を忘れずに、感謝の気持ちで一生懸命働くつもりです。

今、私は韓国に住んでいますが、日韓市民ネットのためになることなら、私の能力が届く限り今後とも最善をつくしていきたいと思っています。皆様のご健康とご発展をお祈りしています。

안녕하십니까!

**3月・4月までにご寄付をいただきました
ご協力ありがとうございました**

3月及び	総会時の寄付	牧野 司	¥ 5,000
		大西 さゆり	ビール券
4月	名誉顧問	横内 恭	¥ 20,000
	名誉顧問	伊藤秋男	¥ 30,000



新会員の紹介

はら ようこ 原 陽子	たにいけ みつる 谷池 満
しばた としあき 柴田 敏章	しばた ひでこ 柴田 日出子
いのくち としこ 井ノ口 俊子	り うおんぎょん 李 苑暻
かい みちこ 甲斐 美知子	

編集後記(2009/5/15)

第12回総会が滞りなく終わることができたことは会員の皆様の温かいご協力とご支援のおかげと思います。1年間ありがとうございました。

さて新年度からは東海高校の久田光政先生が会員兼幹事としてご参加いただくことになり年々、会の平均年齢が増加していくなかで日韓市民ネットワークなごやにとつて高校・大学生を率いる方にご参加いただくことは会の若返りと今後の新しい日韓交流の方向性が見えてくるのかも知れません。また久田先生は被災地などの救援ボランティア活動も積極的にされています。

日韓交流を軸として少しでも新たな社会貢献が出来ることを祈りながら、ともあれ会員皆様方のご健康とご多幸をお祈り致しましてこの1年間も宜しく願いいたします。

編集長 中川修介 Mail:nakagawa@amenity-owari.jp